

平成29年度 物流博物館特別展「飛脚問屋・嶋屋佐右衛門日記の世界」展示資料リスト 会期：2017年10月21日（土）～12月10日（日）

導入 江戸時代のいろいろな飛脚たち

番号	パネル・資料名	成立年代	所蔵	展示期間
1	葛飾北斎画「富士百撰 暁ノ不ニ」（幕府継飛脚／模刻彩色／部分・パネル）	（原図：江戸時代後期）	郵政博物館蔵	
2	葛飾北斎画「伝神開手 北斎道中画譜」下（亀山／幕府継飛脚／部分・パネル）	江戸時代後期	郵政博物館蔵	
3	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次 由井」（狂歌入／幕府継飛脚／パネル）	天保年間（1830～43）後期	慶応義塾蔵	
4	「継飛脚の図」（『駅通志稿』（『大日本交通史』）より／部分・パネル）	（原本：明治15年〔1882〕）	物流博物館蔵	
5	葛飾北斎画「伝神開手 北斎道中画譜」上（品川／幕府継飛脚／部分・パネル）	江戸時代後期	郵政博物館蔵	
6	歌川広重（初代）画「東海道五十三次之内 亀山」（行書版／幕府継飛脚／パネル）	天保14～弘化4年（1843～7）	慶応義塾蔵	
7	葛飾北斎画「伝神開手 北斎道中画譜」上 金谷（七里飛脚／部分・パネル）	江戸時代後期	郵政博物館蔵	
8	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次 戸塚」（狂歌入／継飛脚・町飛脚／パネル）	天保年間（1830～43）後期	慶応義塾蔵	
9	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次之内 平塚」（保永堂版／町飛脚〔走り飛脚〕／部分・パネル）	天保4年（1833）頃	郵政博物館蔵	
10	歌川広重（初代）画 東海道五十三次之内 赤阪（行書版／町飛脚字領カ／部分・パネル）	天保14～弘化4年（1843～7）	郵政博物館蔵	
11	「早飛脚」（葛飾北斎画「北斎漫画」12巻より・パネル）	江戸時代末期	東京都江戸東京博物館蔵	
12	歌川広重（初代）画「江戸名所 寿留賀町」（ちりんちりんの町飛脚／部分・パネル）	安政5年（1858）	郵政博物館蔵	
13	「飛脚図」（アンペール・エメエ（Humbert Aime）著『幕末日本図絵（Le Japon illustre）』より／部分・パネル）	1870年	郵政博物館蔵	
14	「飛脚」（ベアトとスティルフリードのアルバムより／パネル）	明治初年	放送大学附属図書館蔵	

序章 「嶋屋佐右衛門日記」とは

番号	パネル・資料名	成立年代	所蔵	展示期間
15	『宿駅日記』7巻ほか	寛保3年（1743）ほか	郵政博物館蔵	
16	『定飛脚日記』（1～12巻）	明治12～15年（1879～1882）頃	郵政博物館蔵	
17	『東海道名所図会』巻4 「名産瀬戸染飯」	寛政9年（1797）刊	物流博物館蔵	

第一章 町飛脚のネットワーク

番号	パネル・資料名	成立年代	所蔵	展示期間
①江戸時代の町飛脚				
18	「御蔵米割付、潮汐満干之図、銀つかひ銭わり附覧、飛脚屋名家所付、慶劫記福寿海」（部分・パネル）	寛保2年（1742）頃	東京都江戸東京博物館蔵	
19	「諸州国々飛脚便宜鑑」（パネル）	江戸時代後期カ	公益財団法人三井文庫蔵	
20	『改正増補 難波丸綱目』（部分・パネル）	延享5年（1748）刊	早稲田大学図書館蔵	
21	『木曾路巡覧記』	宝暦5年（1755）刊	物流博物館蔵	
22	『京羽二重 大全』	延享2年（1745）刊	物流博物館蔵	
23	「江戸六組飛脚屋仲間」	安政1年（1855）12月改	郵政博物館蔵	
②町飛脚（三度飛脚系）のネットワーク				
24	『定飛脚問屋願済ノ一件』（「道中三度飛脚宿并取次所」・安永2年〔1773〕段階）	天保期（1781～89）	郵政博物館蔵	
25	飛脚屋印 村井（京屋弥兵衛）		郵政博物館蔵	
26	京屋弥兵衛飛脚印（「日本橋平松町京屋」）		郵政博物館蔵	
27	京屋弥兵衛飛脚印（「奥州福島京屋定飛脚」）		郵政博物館蔵	
28	京屋弥兵衛飛脚印（「金銀不要奥州福島京屋通印」）		郵政博物館蔵	
29	京屋弥兵衛飛脚印（「仙台大町飛脚問屋京屋」）		郵政博物館蔵	
30	京屋弥兵衛飛脚印（「室式金銀不要京屋」）		郵政博物館蔵	
31	山城屋宗左衛門飛脚印（「山城宗」）		郵政博物館蔵	
32	『文化二年大細見』	文化2年（1805）	郵政博物館蔵	

③町飛脚（三度飛脚系）の輸送方法

④描かれた飛脚たち

33	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次之内 袋井 出茶屋ノ図」（保永堂版）	天保4年（1833）頃	日本通運株式会社蔵	10月21日～11月12日
34	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次之内 袋井 出茶屋ノ図」（保永堂版）	天保4年（1833）頃	郵政博物館蔵	11月14日～12月10日
35	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次之内 平塚 繩手道」（保永堂版）	天保4年（1833）頃	郵政博物館蔵	10月21日～11月12日
36	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次之内 平塚 繩手道」（保永堂版）	天保4年（1833）頃	日本通運株式会社蔵	11月14日～12月10日
37	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次之内 藤枝 人馬継立」（保永堂版・11月14日～パネル展示）	天保4年（1833）頃	日本通運株式会社蔵	10月21日～11月12日
38	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次之内 府中 安部川」（保永堂版）	天保4年（1833）頃	日本通運株式会社蔵	11月14日～12月10日
39	歌川広重（初代）画「東海道五十三次之内 赤阪」（行書版）	天保14～弘化4年（1843～7）	郵政博物館蔵	10月21日～11月12日
40	歌川広重（初代）画「江戸名所 寿留賀町」	安政5年（1858）	郵政博物館蔵	11月14日～12月10日
41	歌川芳艶（2代）画「近世義勇伝 岡部三十郎」	明治6年（1873）	物流博物館蔵	11月4日～11月12日
42	豊原国周画「上州織侠客大綱 赤坂松並木飛脚殺の場」（11月4日～パネル展示）	明治17年（1884）7月	東京都立中央図書館特別文庫蔵	10月21日～11月3日
43	歌川国貞（2代）「市村家橋の飛脚の隈平・坂東彦三郎の飛脚の音平・河原崎権十郎の飛脚の咲平」	慶応2年（1866）1月	郵政博物館蔵	11月14日～12月10日
44	歌川広重（初代）「東海道五十三次細見図会 品川」（部分・パネル）	天保14～弘化3年（1843～1846）	国立国会図書館蔵	12月10日

第二章 嶋屋の「会社情報」

番号	パネル・資料名	成立年代	所蔵	展示期間
45	『嶋屋佐右衛門家声録』	天明7年（1787・明治期写本）	郵政博物館蔵	
46	『きのふの我』	寛政3年（1791）5月	上田葉子氏蔵	
47	「正月十八日ニ鉄火引申人数」（『宿駅日記』6巻／パネル）	延享4年（1747）	郵政博物館蔵	
48	江戸飛脚問屋仲間所在地（パネル）			
49	嶋屋佐右衛門と他の飛脚問屋の所在地の変遷（パネル）			
50	落合芳幾画「新酒番船入津繁栄図」（パネル）			
51	歌川広重（2代）画「江戸名勝図会 新酒番船江戸新川入津図」（パネル）	文久3年（1863）	東京都江戸東京博物館蔵	
52	『江戸名所図会』第1巻 第2冊 「新川酒問屋」「中橋」	文久1年～元治1年（1861～4）頃	関西学院大学蔵	
53	歌川広重（初代）画「名所江戸百景 大てんま町木綿店」	天保5年（1834）	東京都立中央図書館特別文庫蔵	10月21日～11月3日、11月18～26日
54	歌川広重（初代）画「名所江戸百景 大伝馬町こふく店」	安政5年（1858）	東京都立中央図書館特別文庫蔵	10月21日～11月3日
55	歌川広重（初代）画「東都大伝馬街繁栄之図」	安政5年（1858）	東京都立中央図書館特別文庫蔵	11月29日～12月10日
56	『江戸名所図会』第1巻 第1冊「大伝馬町 木綿店」「駿河町 三井呉服店」	天保～弘化（1830～1848）頃	東京都立中央図書館特別文庫蔵	11月4日～11月17日
57	「子正月廿六日」条（『宿駅日記』3巻／パネル）	天保5年（1834）	品川区立品川歴史館	11月18日～12月10日
58	嶋屋日記記載の得意先（商人）所在地～江戸のみ～（パネル）	寛保4年（1744）	郵政博物館蔵	
59	嶋屋日記記載の得意先（武家）／関係役所の所在地（パネル）			

第三章 日記にみる飛脚問屋の日々

番号	パネル・資料名	成立年代	所蔵	展示期間
①飛脚問屋の店舗				
60	竹塚東子「雲飛脚二代羽衣」3巻（飛脚屋の外観と店内／パネル2点）	享和元年（1801）	国立国会図書館ウェブサイトより	
61	絵馬「定飛脚問屋東京仲間出張所之図」（全体図・部分・パネル4点）	明治時代初期	公益財団法人成田山靈光館蔵	
62	「吉村 佐内丁 和泉や」（『全盛富貴寿古録』／部分・パネル）	明治時代初期	物流博物館蔵	
63	内国通運会社本店（『東京商工博覧絵』第2編上編／パネル）	明治18年（1885）	日本通運株式会社蔵	
64	伝・京屋弥兵衛 麦湯接待茶釜	江戸時代	物流博物館蔵	
②飛脚問屋の営業活動				
65	『江戸名所図会』第3巻 第7冊 「霞か関」	天保5年（1834）	東京都立中央図書館特別文庫蔵	10月21日～11月17日
66	『日用留 第二』（『宿駅日記』2巻・寛保2年4月10日～11日〔酒店大参会并籠ほか〕）	寛保2～3年（1742～3）	郵政博物館蔵	
67	白木台を運ぶ（模写・パネル）			
68	『進物便覧』（パネル2点）	文化8年（1811）	お茶の水女子大学蔵	
69	『日記 八』（『宿駅日記』8巻／宝暦4年2月9日〔大伝馬老丁目新店〕／パネル）	宝暦3～4年（1753～4）	郵政博物館蔵	
70	得意先・進物一覧表（パネル）			
71	『日記 八』（『宿駅日記』8巻／宝暦3年6月16日〔大番頭請負証文〕）	宝暦3～4年（1753～4）	郵政博物館蔵	
72	『日記 九』（『宿駅日記』9巻／宝暦4年8月〔堤札・合印〕／パネル）	宝暦4年（1754）	郵政博物館蔵	
73	『日記 六』（『宿駅日記』6巻／寛延3年8月26日〔安藤対馬守飛脚賃滞納〕）	延享4年～寛延4年（1747～51）	郵政博物館蔵	10月21日～11月17日
74	『日用留 第二』（『宿駅日記』2巻／寛保2年9月〔紙問屋賃銀値引き要請回答〕／パネル）	寛保2～3年（1742～3）	郵政博物館蔵	
③飛脚の輸送業務				
75	飛脚便の所要日数と料金（パネル）			
76	「御用飛脚通」（「加納遠江守陣屋本間千五郎分／上州桐生・京屋弥兵衛・大間々取次所）	安政7年（1860）正月吉日	郵政博物館蔵	
77	「飛脚問屋諸仕法・賃金ニ付通知」	文化3年（1806）	郵政博物館蔵	10月21日～11月21日
78	包み銀（「銀拾八匁」「拾匁」「銀五匁也」／パネル）	江戸時代	大阪商業大学商業史博物館蔵	
79	覚（金700両・御状1通添／届先：上州桐生・長沢仁右衛門／長沢与七宛嶋屋佐右衛門受取／パネル）	寛政10年（1798）6月9日	桐生市立図書館蔵	
80	覚（御紙包2個／届先：上州桐生・長澤新助／長沢晴八宛嶋屋佐右衛門受取／ちん先払／パネル）	年欠 酉2月19日	桐生市立図書館蔵	
81	飛脚屋証文（「置証文之事」／大坂・大津八町飛脚業者及び山城屋宗左衛門より磯谷久右衛門宛）	元文2年（1737）8月14日	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
82	飛脚屋引受証書（「覚」／京都麩屋町行／嶋屋佐右衛門・河内屋喜右衛門金200両・書状1通受取証）	寛政9年（1797）12月4日	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日

番号	パネル・資料名	成立年代	所蔵	展示期間
83	飛脚状（並便／大久保刑部江戸屋敷⇒大久保刑部知行所・伊豆国君沢郡御園村名主）	申（文化9年～）11月8日	郵政博物館蔵	
84	飛脚状包（早序／信州飯田⇒名古屋広小路／封金10匁相添）	年欠 8月17日	郵政博物館蔵	10月21日～11月21日
85	飛脚状（早便／遠州屋嘉兵衛⇒遠州掛川宿 山崎万右衛門）	年欠 3月28日	郵政博物館蔵	10月21日～11月21日
86	飛脚状包紙（正六日限／意安法印内 武田大膳⇒城州綴喜郡市辺村／「従江戸二百町賃済」）	年欠 2月15日	郵政博物館蔵	
87	飛脚状（兵庫米飛脚引札貼り付け・家印「ヤマ中」）	年欠 辰8月18日	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
88	『進物便覧』（パネル）	文化8年（1811）	お茶の水女子大学蔵	
89	天明老人編・歌川広重（初代）画『狂歌倭人物』二編（飛脚宰領／部分・パネル）	安政4年（1857）	郵政博物館蔵	
90	革状箱	江戸時代	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
91	革状箱	江戸時代	郵政博物館蔵	
92	革状箱（本体内面に朱で「鳥屋」の文字あり）	江戸時代	郵政博物館蔵	
93	革状箱	江戸時代	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
94	旅状箱（太田摂津守殿）	江戸時代	郵政博物館蔵	
95	飛脚の担い箱	江戸時代	郵政博物館蔵	
96	飛脚の担箱（写真・パネル）	江戸時代	人間文化研究機構国文学研究資料館蔵	
97	飛脚の担い箱（写真・パネル）	江戸時代	東京都江戸東京博物館蔵	
98	大名飛脚（庄内藩・酒井家）の担箱	江戸時代	富田裕氏蔵	12月6日～12月10日
99	明荷	江戸時代	郵政博物館蔵	
100	明荷	江戸時代	郵政博物館蔵	
101	尾形月耕画「日本交通図絵稿本」（三度飛脚／部分・パネル）	大正7年（1918）	郵政博物館蔵	

④ 地方出店・取次所・飛脚宿

102	「為替手形之事」（金千両・福島嶋屋佐右衛門店取組・慶応4年1月晦日／飛脚状包紙・早便の裏面）	年欠 3月4日	郵政博物館蔵	
103	「嶋屋京屋金銀御状請取」（武州妻沼大和屋定七〔取次所〕受取／太田・掛川徳治郎宛⇒届先：小石川馬場南・松崎満太郎内）	弘化5年2月吉日	郵政博物館蔵	
104	「御屋敷御寺院飛脚判取」（上州大間々・和田七郎左衛門〔嶋屋佐右衛門大間々取次所〕）	嘉永2年（1849）	物流博物館蔵	
105	『根本山参詣路飛渡里案内』（嶋屋佐右衛門桐生店）（実物・パネル）	安政6年（1859）頃	物流博物館蔵	10月21日～11月21日
106	『諸国道中商人鑑 中仙道善光寺之部』（嶋屋・京屋藤岡店／部分・パネル）	（文政10年（1827）刊）	みやま文庫より転載	
107	『諸国道中商人鑑 中仙道善光寺之部 全』（中山道香掛宿・定飛脚定宿つたや清蔵）	文政10年（1827）刊	品川区立品川歴史館蔵	
108	（旅人宿 紙屋 五十畑五郎右衛門広告）	明治時代	物流博物館蔵	10月21日～11月21日
109	「藤岡店之事」（『宿駅日記』12巻）	宝暦8～9年（1758～9）	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
110	「江戸三度飛脚所 大こく屋」看板	江戸時代	物流博物館蔵	
111	飛脚屋引受証書（「覚」／江戸・本所行銀13両一包入書状桐生嶋屋佐右衛門受取証・桐生「ヤマ中」改印）	11月8日	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
112	「口上」（掛川宿定飛脚取次・伏見屋次左衛門引札）	年欠	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日

コーナー展示：飛脚宰領とは

113	町飛脚法被・腹掛け（写真・パネル）	江戸時代	郵政博物館蔵	
114	飛脚の法被（夏用）（写真・パネル）	江戸時代	富田裕氏蔵	
115	曲亭馬琴作・歌川豊国画『膏油橋河原祭文』（飛脚宰領／部分・パネル）	文政6年（1823）刊	早稲田大学図書館蔵	
116	笠（飛脚用網笠カ・パネル）	江戸時代	人間文化研究機構国文学研究資料館蔵	
117	胴乱	江戸時代	郵政博物館蔵	
118	枕付胴乱	江戸時代	物流博物館蔵	
119	胴乱	江戸時代	郵政博物館蔵	
120	網袋	江戸時代	郵政博物館蔵	
121	提灯	江戸時代	物流博物館蔵	
122	財布	江戸時代	物流博物館蔵	
123	胸当	江戸時代	郵政博物館蔵	
124	キセルと煙草入れ	江戸時代	物流博物館蔵	
125	道中差	江戸時代	物流博物館蔵	11月22日～12月10日
126	安倍川紙衣 道中合羽（複製・写真パネル）	現代	公益財団法人 紙の博物館蔵	
127	歌川広重（初代）画「東海道五十三次細見図会 品川」（部分・パネル）	天保14～弘化3年（1843～1846）	国立国会図書館ウェブサイトより	12月10日

第四章 飛脚問屋の事件簿

番号	パネル・資料名	成立年代	所蔵	展示期間
128	『日用留 壹番』（『宿駅日記』1巻／寛保2年2月18日〔大坂屋茂兵衛謀書事件〕）	寛保1～2年（1741～2）	郵政博物館蔵	
129	『定飛脚発端旧記』（継早飛脚の禁止）	天保11年（1840）2月序	郵政博物館蔵	10月21日～11月21日
130	『日記 三番』（『宿駅日記』3巻／寛保3年8月〔宇田川事件類末〕）	寛保3年～延享1年（1743～4）	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
131	『人倫訓蒙図彙』巻三（走り飛脚の図・パネル）	元禄3年（1690）	国会図書館ウェブサイトより	
132	『日記 四番』（『宿駅日記』4巻／延享2年4月～5月〔「丑年大水之事」〕）	延享1～2年（1744～5）	郵政博物館蔵	
133	『日記 四番』（『宿駅日記』4巻／延享1年11月21日〔江戸出火〕／パネル）	延享1～2年（1744～5）	郵政博物館蔵	
134	『日記 五番』（『宿駅日記』5巻／延享3年6月23日〔宰領への暴行事件〕）	延享2～4年（1745～7）	郵政博物館蔵	10月21日～11月21日
135	『日記 六』（『宿駅日記』6巻／延享4年11月〔荷物取り違え事故〕）	延享4年～寛延4年（1747～51）	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
136	『日記 十』（『宿駅日記』10巻／宝暦5年3月〔江戸店での賭博流行発覚〕）	宝暦4～5年（1754～5）	郵政博物館蔵	
137	サイコロ賭博（ちよほいち／写真・パネル）	明治時代中期	放送大学附属図書館蔵	

コーナー展示：川柳に見る飛脚の姿

138	歌川広重（初代）画「東海道五拾三次之内 府中 安部川」（保永堂版／全体図・部分パネル）	天保4年（1833）頃	郵政博物館蔵	
-----	---	-------------	--------	--

終章 島屋佐右衛門のその後

番号	パネル・資料名	成立年代	所蔵	展示期間
139	「定飛脚諸仕法取極」	享和3年（1803）	郵政博物館蔵	
140	「定飛脚問屋中 定」	天明2年（1782）11月6日	郵政博物館蔵	10月21日～11月21日
141	定飛脚印鑑（「早」）	江戸時代	郵政博物館蔵	
142	定飛脚印鑑（「御用定飛脚」）	江戸時代	郵政博物館蔵	
143	飛脚屋印 飛脚印（「定飛脚」）		郵政博物館蔵	
144	「乍恐以書付奉申上候」（馬持助成のため定飛脚問屋仲間より宿方へ10年間御定賃銭2割増銭につき道中奉行宛願書写）	天明10年（1790）	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
145	「江戸じまん 文化十二歳改（番付）」（パネル）	文化12年（1815）	公益財団法人三井文庫蔵	11月22日～12月10日
146	江戸三度定飛脚出日（津国屋十右衛門・嶋屋佐右衛門）	江戸時代	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
147	東都より諸国往返方角附 定飛脚往返引札	天保期（1830～1844）カ	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
148	箱館定飛脚賃附	文久元年（1861）推定	物流博物館蔵	11月22日～12月10日
149	「乍憚口上」	嘉永7年（1854）11月15日	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
150	「口上」（定飛脚問屋仲間・道中混雑・輸送制限）	辰（慶応4年・1868）3月	郵政博物館蔵	11月22日～12月10日
151	入置申証文之事（嶋谷佐右衛門1万両借用金につき）	明治3年（1870）12月27日	物流博物館蔵	11月22日～12月2日
152	一札之事（嶋谷佐右衛門二万両借用金につき）	明治4年（1871）3月29日	物流博物館蔵	12月3日～12月10日
153	家業興立先塋塔（大阪市天王寺区・正覚寺／写真・パネル）		写真提供：巻島隆氏	
154	五輪塔（大和屋善右衛門建立／大阪市天王寺区・円通寺／写真・パネル）		写真提供：巻島隆氏	

以上